

きずな

〜ご挨拶〜

昨年は、社会福祉法人制度の根幹である社会福祉法が改定されました。社会福祉法人にとっては、大きな変革の年となりました。そして、平成29年4月1日から、66年ぶりに抜本的に改定された社会福祉法の下で、すべての社会福祉法人に事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みや生活困窮者への支援等の地域貢献が責務になります。

賀光会におきましても新制度に適應するよう定款変更を行いました。今後、評議員と役員の改選等の準備、そして、規程、規則の変更を行い、平成29年度は「その人らしい幸せづくりを支援します」という利用者本位の法人の理念のもと、利用者支援に取り組み、そして、社会福祉法人の使命と役割を果たすべく職員一同決意を新たに取組んでいます。

なお、今回の機関紙「きずな50号」は、日中活動のうち、賀光寮の作業科の内容やポプラの生産活動、クラブ活動の内容、昨年末に実施した「もちつき大会」や2月に実施した「回転寿司」のイベントのことを中心にご紹介します。

事務長 伊藤 昌弘

七宝焼きは奥の深いものです。

賀光寮にて1月30日から、アートクラブで七宝焼きの活動を始めました。活動日は毎月、第1月曜日と第3月曜日の13時から16時で行っています。利用者の方々は、川端寮長に七宝焼きのノウハウやコツを教わりながら一生懸命に作品づくりをされています。

七宝焼き
新しく始めました。



銅版に釉薬を塗っています！

ので、銅板に乗せる釉薬の量や窯の温度の違いで作品の出来栄が変わります。担当支援員の私も利用者の方々と少しづつ七宝焼きの技術を学びながら、いずれは賀光会バザールに出品して地域の方々などに購入していただけるような作品を作れるよう頑張ります。

支援員 岸 瑞記

OA科
「きずな」の発送準備などをしています。

OA科は現在2人の利用者の方が作業されています。普段はパソコンを使用し、文字入力や表の作成などの練習をしています。月に1度、行事予定表を賀光寮の利用者の方々の居室に掲示するために、作成しています。また、年に3回発行している機関紙「きずな」の印刷と「きずな」を印刷した後に紙を折ったり、ペー

ジ順に揃えたりと丁寧な作業をします。今後、賀光寮OA科で作業されている利用者の方が作業をしやすいように環境を整えていきたいです。

支援員 松村 剛志

用者の方にちよつとしたテクニクを教えてください。また、利用者の皆様にもあります。



もちつき大会 〜もちは つきたてが一番。〜

平成28年12月18日の日曜日に、快晴の中もちつき大会が行われました。年に1度のもちつきを利用者、職員ともに楽しみにしていました。



もちつきの準備が始まると、薪が燃える匂いや、もち米の蒸しあがる匂いが敷地内に漂い始めました。つきたてのお餅を食べることは楽しみの一つですが、利用者、職員、ボランティアが一丸となって準備することも、もちつき大会の醍醐味の一つです。もちつきは作業工程が多く、みんなが協力しあって作業している光景はとても印象的でした。

今年もお餅の他に、豚汁と五平餅が振る舞われました。寒い野外で食べるつきたてのお餅入りの豚汁は絶品で、参加者の方々に大人気でした。用意された七味や山椒を掛けて食べるとピリツと辛みや香りがあり、さらに体の芯から温まりました。参加者からは「来年も必ず豚汁を出して下さい」と声を掛けていただきました。また、五平餅も大人気で、味噌だれが



よいしょ、よいしょ！！

焦げるいい匂いが食欲をそそりました。もちつき後のビンゴ大会は大いに盛り上がりました。電化製品や日用品、そして文具などバラエティに富んだ景品が、会場の中心に並び、ビンゴ大会が始まりました。みごとビンゴになり、お目当ての景品を受け取った方は本当にうれしそうでした。



毎年、恒例となっているもちつき大会をこれからも大いに盛り上げて、多くの参加者に楽しんでいただける行事にしていきます。

主任 森川 大輔

初詣 〜何を願いましたのびょう。〜

1月5日木曜日に希望する利用者の方々と辛国神社へ初詣に行つて来ました。当日は、お天気に恵まれ、参拝客がたくさん来られていました。



願い事がかないますように！

まずは、入り口で手を洗い、お清めしてみんなでお参りをしました。賽銭箱にお金を入れる方や鈴を鳴らしてお参りする方などそれぞれにお参りをさされてきました。私はゆつくりお願いをしたつもりでしたが、顔を上げるとまだ利用者の方々は手を合わせてお参りをしていました。みなさんは、何を願いましたのびょう。



みんなでハイチーズ！

次に、社務所に行き、お守りを見ました。男性利用者の方々はあまりお守りに興味がない様子でしたが、ある女性利用者の方はお守りを真剣な表情で選び、「このお守りで安心・幸せになれる！」と言いお守りを買っていました。ゆつたりと境内を散策したあとは、参加された利用者の方々に記念撮影！ポプラに戻ると、「お守り買ってきただよ」と話している光景を見ると、きつと今年も利用者の方々にとって楽しい1年になることでしょう。

支援員 角田 由香

回転寿司

握りたての寿司は
おいしい!!

賀光会のビッグイベントの一つの出張回転寿司がまだ厳しい寒さの残る2月24日の金曜日に開催されました。回転寿司の前日は、たらく寿司食うたるで」とおっしゃったりと、大変楽しみにされていました。

当日は10時20分頃に業者の方が来て回転式ベルトコンベアの設置などを手際よく進められていました。会場の設営が終わり、



ジュー!と炙っています

職人の方々が寿司を握り始めると、今か今かと待ち遠しい様子で利用者の方々が見に来られました。

11時30分に開始し、ポップラの方々、賀光寮の方々の順に回転寿司がスタート。目玉のまぐろ中トロ握りを筆頭にアジ、タイ、はまち、うにや生エビなどの定番



ネタからウインナー、ハンバーグ、炙りゲソやえび天にぎりなどの変わり種の寿司、そして、デザートのカキなど、バラエティ豊かに寿司やデザートが回転寿司ベルトコンベアに流れました。利用者の方々は、目を輝かせて、どれにしようかな」とつぶやきな



がら、お寿司を取られていました。席に着くと、「やっぱりお寿司はおいしいな」や「みんなで食べる回転寿司は楽しい」などの会話を楽しみながら食べられました。最後には、ごちそうさまでした。おいしかったです。」と業者の方にお礼を言われる光景を見て、回転寿司の行事してよかったですと感激しました。

来年度の出張回転寿司も、より楽しんでいただけるように計画していきます。

支援員 岸 瑞記

誕生会

「餃子の王将」
GO!!

賀光寮では、利用者の誕生を祝うために、誕生会を行ってまいります。その月の誕生月の職員が利用者の方々に外食に行きたいところのアンケートをとり、利用者の方々と一緒に外食に行きます。外食に行くことを希望されない方は、お菓子とお茶を用意し、賀光寮の食堂で誕生会を楽しみます。今までに行った外食先は、中華料理、天井や回転寿司などです。アンケートをとると、「餃子の王将」を希望される方が多く、人気店の一つになっています。

3月 誕生会 その人気



のある「餃子の王将」に行きました。店に着いて席に座り、さつそくメニューを選び！利用者の方々はメニューを見ながらなににしようかな「なにを食べようかな」と迷っておられました。みんなそれぞれ好きなメニューを注文し、料理が運ばれてきました。みんな笑顔で、「うまいなあ」と言われながら食べられています。食べられている方がおられました。

これからも利用者の方々の誕生を祝う誕生会を行ってまいります。

支援員 松村 剛志

美術クラブ 「大変ねカルタ」の作成

毎月1回14時45分から15時30分に行っているクラブ活動は、利用者の方々が楽しみにしている活動の一つです。



厚紙に読み札を貼っています！

今回、美術クラブで作成しているものは「大変ねカルタ」のリニューアルです。「大変ねカルタ」とは、ある利用者が賀光会職員・ポプラ利用者についてカルタにしたものです。例えば○○さん職員掃除して大変ねなど普段の仕事や状況を読み札に表しています。美術クラブに参加している3人の利用者



厚紙切るのは大変やわ～！

の方々から、職員・利用者がここ数年でかなり入れ替わったので、新しくしよう」と意見が挙がったので、計画をたてて作成をします。まずは、読み札と絵札の型を厚紙で切り取ります。その後は、読み札の文言を利用者の方々と一緒に考え、印刷した読み札を厚紙に貼ります。

次の美術クラブの活動では、絵札の絵を描いたり、色塗りをしていきます。出来上がった「大変ねカルタ」はポプラの利用者の方々と一緒にプレーをします。ので利用者みなさん楽しみにして下さい！！

支援員 柏木 和紀

生産活動 「楽しみながら やっています。」

ポプラでは、月曜日から金曜日の10時から11時20分と13時から14時30分の時間帯で生産活動を行っています。どんな活動をしているのか、2つの作業を紹介します。



協力しながらしています！

1つ目は、A5ノートのカバー付けです。段ボールに入ったカバーを出す利用者として出したカバーをA5ノートに付ける利用者として担って作業を行います。何度もこの作業をされているので、利用者の方々は慣れた手つきでスムーズにこなしています。机に置いて



ヘアピン差しを頑張ります！

ている材料がなくなると自身で材料を取ったり、他の利用者が材料がなくなっていることに気付くと、そこに材料を持って行ったりと互いに協力しながらされています。

2つ目は、ヘアピン差しです。木の土台に銀版を差し込み、そこにヘアピンを60本差しします。この作業は利用者にとっては、やりやすい作業で、利用者同士で、何本できたか競争したり、今日は5本しかできなかったけど明日は6本頑張ると職員に報告するなど意欲的にされています。生産活動は利用者にとって楽しい活動の一つになっています。

支援員 柏木 和紀

編集後記

今年度のもちつき大会は晴天で、無事に終えることができました。五平餅や豚汁等は大変好評で、参加された方々は大満足されていました。おもちゃをつき終わった後に実施したピング大会では、お目当ての賞品をゲットできた方が多く、大成功でした。ボランティアの方々・ポプラ保護者の方々ご協力ありがとうございました。

回転寿司は、利用者の方々に大好評の行事食です。

おいしそ
うにお寿司
を食べる利



用者の方々の姿を見ると、職員はさらにやる気になります。

来年度もみなさんに楽しんでいただける行事を企画をしていきます。

(編集者一同)